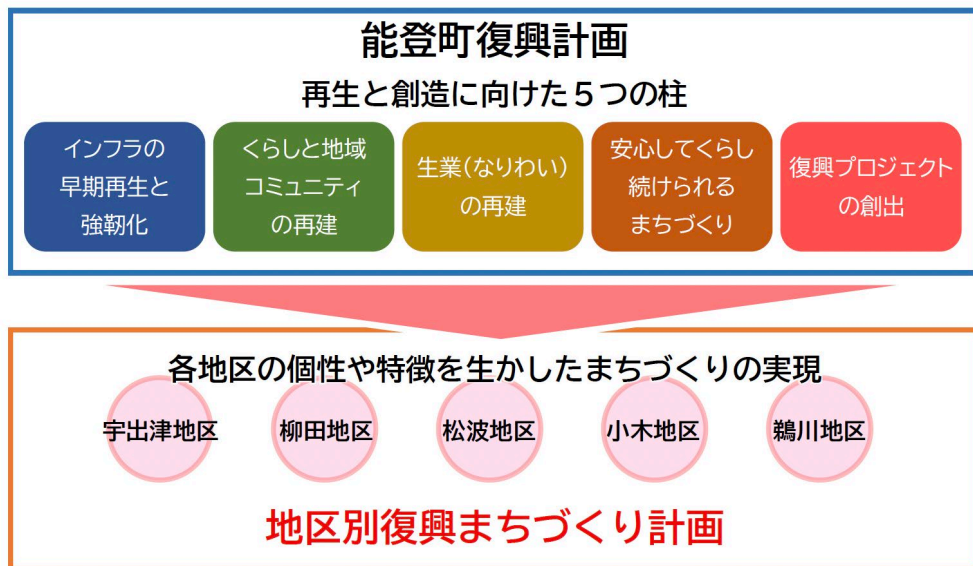
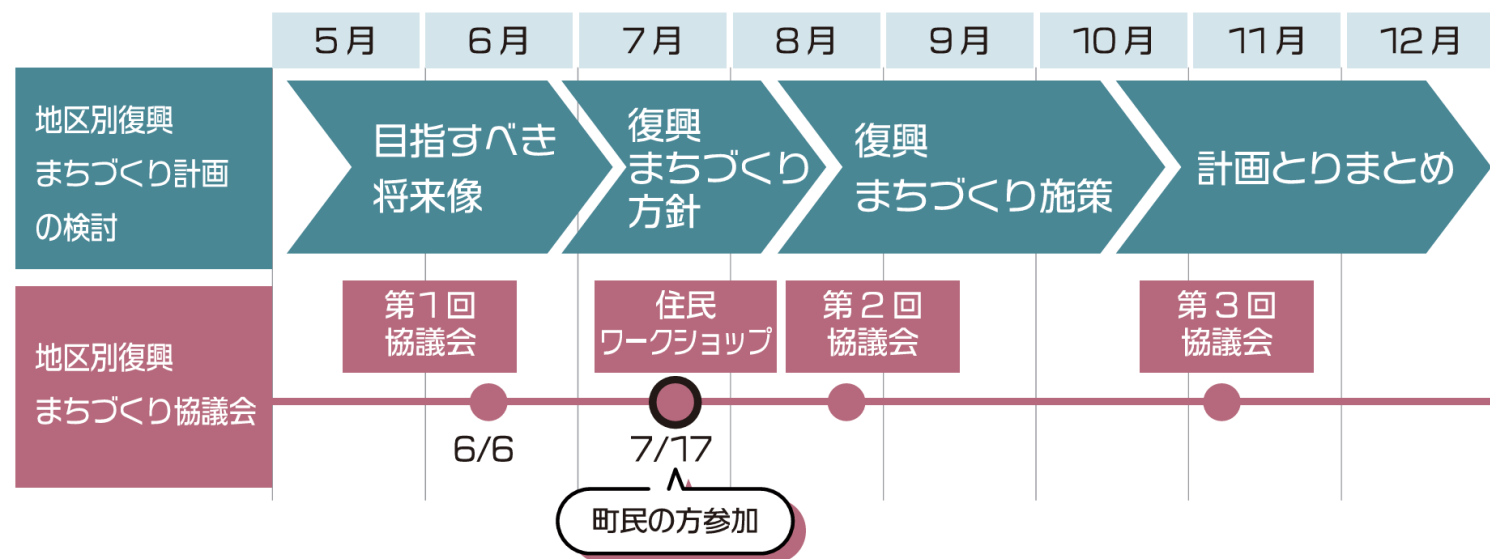


能登町の地区別復興まちづくり計画策定に向けた 住民協議の伴走支援



能登町地区別復興まちづくり計画より



地区別復興まちづくり計画の策定プロセス

- ・ 地区別計画策定のため復興ディレクターとして宇出津地区・小木地区を担当
- ・ 各地区で協議会3回＋住民ワークショップ1回を実施
- ・ 議論整理から計画策定まで一貫して伴走

豊島 祐樹
まち・なりわいづくり部門
金沢大学融合研究域融合科学系 講師



6/5 小木地区協議会の様子



7/17 宇出津地区ワークショップの様子

- ・ハード整備より先に「住民が動き出す条件」を整えることが重要
- ・協議会とワークショップで「論点整理」→「優先順位」→「実行」へ
- ・合意形成の設計こそ計画策定の核

● 小木地区：住民主体 × 学生で次の一歩へ



1/10 小木地区のお母さんたちと企画会議



1/10 小木地区で活動するメンバーと懇親会

- ・ 小木地区での住民主体の企画に伴走するため学生と合宿
- ・ 「この地区は、人が地域資源」という言葉が印象的

●宇出津地区：小さく試して基盤をつくる



宇出津コミュニティラボのビジョンとコンセプト



7/5 あばれ祭りで集まった様子

- ・宇出津地区は行政の中心地域でもあり、住民主体のまちづくり活動が起きにくい
- ・「宇出津コミュニティラボ」で小さな試行を継続